

アンケート実施結果 (山形県立酒田光陵高等学校)

令和4年3月 国土交通省 政策統括官付







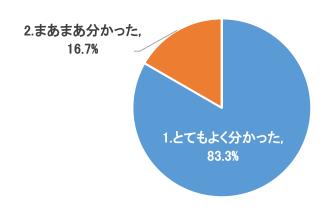
①バリアフリーへの理解

• 回答者数の83%にあたる25名の生徒が、"とてもよく分かった"と回答しており、残りの5名も"まあまあ分かった"と回答しているため、本実証を通じて、参加した生徒全員が、バリアフリーについての理解を深めることができたと回答している。

問

あなたは授業を通じて、バリアフリーについて、理解することができましたか。(1つに〇)

	n=	30
回答項目	回答者数	割合
1.とてもよく分かった	25	83.3%
2.まあまあ分かった	5	16.7%
3.あまり分からなかった	0	0.0%
4.分からなかった	0	0.0%
合計	30	100.0%







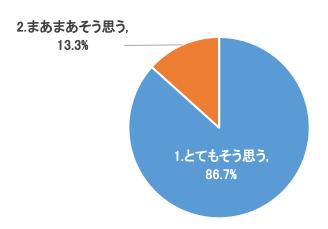
②道路や施設の調査するバリアフリー情報への理解

回答者数の87%にあたる26名の生徒が、"とてもそう思う"と回答しており、残りの4名も"まあまあそう思う"と回答しているため、本実証を通じて、参加した生徒全員へ、道路や施設の調査するバリアフリー情報への理解を深めることができたと回答している。

問

あなたは、バリアフリー情報(車いすでも利用できるトイレや車いすで通れるスロープ、エレベーターなど)が何かを理解して調査することができましたか。(1つに〇)

	n=	30
回答項目	回答者数	割合
1.とてもそう思う	26	86.7%
2.まあまあそう思う	4	13.3%
3.あまりそう思わない	0	0.0%
4.全く思わない	0	0.0%
合計	30	100.0%







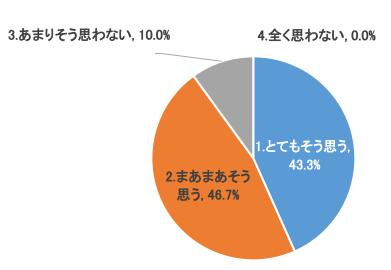
①整備ツールの使い方への理解

回答者数の47%にあたる14名の生徒が、"まあまあそう思う"と回答し、次いで回答者の43%にあたる13名が"とてもそう思う"と回答しており、全体の90%は、整備ツールの使い方は理解できたと回答している。

問

あなたは、整備ツールの使い方を理解して使用することができましたか。(1つに〇)

	n=	30
回答項目	回答者数	割合
1.とてもそう思う	13	43.3%
2.まあまあそう思う	14	46.7%
3.あまりそう思わない	3	10.0%
4.全く思わない	0	0.0%
合計	30	100.0%







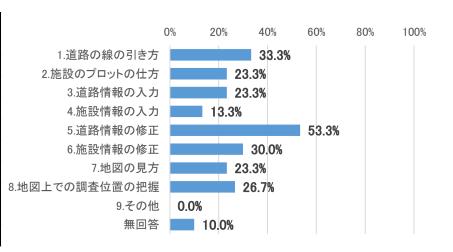
②整備ツールの操作で難しかったこと

- 回答者数の53%にあたる16名の生徒が、"道路情報の修正"が難しかったと回答している。
- 次いで、回答者の33%にあたる10名が"道路の線の引き方"、回答者の30%にあたる 9名が"施設情報の修正"が難しかったと回答している。

問

あなたは、整備ツールで難しかったことはありますか。(あてはまるもの全てに〇)

n=	30
回答者数	割合
10	33.3%
7	23.3%
7	23.3%
4	13.3%
16	53.3%
9	30.0%
7	23.3%
8	26.7%
0	0.0%
3	10.0%
	回答者数 10 7 7 4 16 9 7 8







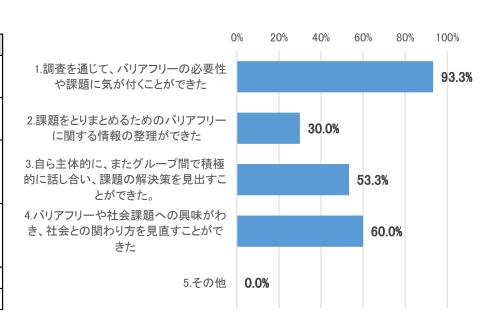
①バリアフリー情報収集調査にてできたこと

- 回答者数の93%にあたる28名の生徒が、"調査を通じて、バリアフリーの必要性や課題に気が付くことができた"と回答している。
- 次いで、回答者の60%にあたる18名が"バリアフリーや社会課題への興味がわき、社会との関わり方を見直すことができた"、回答者の53%にあたる16名が"自ら主体的に、またグループ間で積極的に話し合い、課題の解決策を見出すことができた"が難しかったと回答している。

問

あなたが今日の調査でできたと思ったことは何ですか。(あてはまるもの全てに〇)

	n=	30
回答項目	回答者数	割合
1.調査を通じて、バリアフリーの必要性や課題に気が付くことができた	28	93.3%
2.課題をとりまとめるためのバリアフリーに関する情報の整理ができた	9	30.0%
3.自ら主体的に、またグループ間で 積極的に話し合い、課題の解決策 を見出すことができた。	16	53.3%
4.バリアフリーや社会課題への興味がわき、社会との関わり方を見直すことができた	18	60.0%
5.その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%







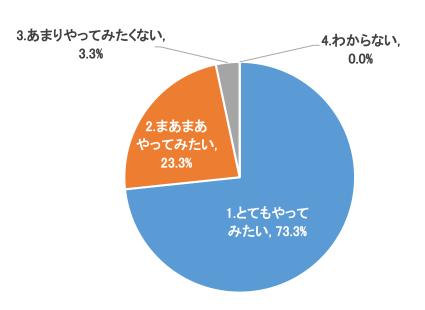
②バリアフリーに関する授業の継続実施意欲

• 回答者数の73%にあたる22名の生徒が、"とてもやってみたい"、次いで、回答者の 23%にあたる7名がが"まあまあやってみたい"と回答しており、全体の96%は、バリアフリーについての授業を引き続きやってみたいと回答している。

問

バリアフリーについての内容を引き続き学校の授業でも取り組みたいですか。(1つに〇)

	n=	30
回答項目	回答者数	割合
1.とてもやってみたい	22	73.3%
2.まあまあやってみたい	7	23.3%
3.あまりやってみたくない	1	3.3%
4.わからない	0	0.0%
合計	30	100.0%







③バリアフリーについて調査したいこと

- 自由回答内容を分類すると、回答者数の27%にあたる8名は、車いす体験を利用しながら調査を実施したこともあり、車いす利用者以外で、視覚障害者、聴覚障害者など "さまざまな障害者目線での調査"への実施意欲があると回答している。
- 次いで、回答者数の17%にあたる5名が点字ブロックや音声ガイド、エレベータなど "バリアフリー機能についての詳細"を調べたいと回答している。

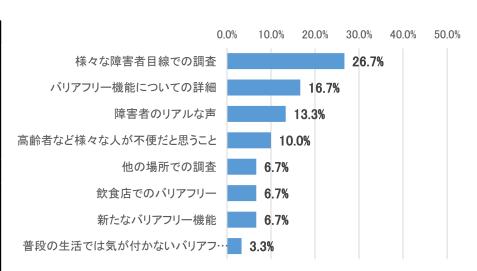
30

• また、"障害者のリアルな声"がもっと聞きたい、"高齢者、妊婦、外国人などが不便だ と思うこと"を知りたいなどの回答があった。

問

バリアフリーについての内容について、今日勉強したこと以外にもっと調べてみたいことはありますか。(自由記述)

	n–	30
回答分類	回答者数	割合
様々な障害者目線での調査	8	26.7%
バリアフリー機能についての詳細	5	16.7%
障害者のリアルな声	4	13.3%
高齢者など様々な人が不便だと思うこと	3	10.0%
他の場所での調査	2	6.7%
飲食店でのバリアフリー	2	6.7%
新たなバリアフリー機能	2	6.7%
普段の生活では気が付かないバリアフリー機能	1	3.3%







③バリアフリーについて調査したいこと



バリアフリーについての内容について、今日勉強したこと以外にもっと調べてみたいことはありますか。(自由記述)

主な意見

回答分類	回答項目
様々な障害者目線での調査	 ・車イスの方以外にも、眼が見えにくい人、高齢の方、足が不自由な方(松葉杖など)のバリアフリーにも特化しているのか調べたい。 ・車イス利用者だけでなく、眼、耳の不自由な人にも大事なバリアフリーを調べたい。 ・目の不自由な人が見えている世界を体験できるゴーグルを使ったものや、足に重りを付けるなどして調べてみたいと思いました。
バリアフリー機能についての 詳細	・点字ブロックや音声ガイドについて、詳しく調べたいと思った。・目の見えない人用に作られている点字を調べてみたい。
障害者のリアルな声	どんな課題があるのか、その解決に必要なことは何か、障害を持った方と関りながら色々と考えていきたい。実際に車イスに乗っている方と一緒に活動してみたい。
高齢者など様々な人が不便 だと思うこと	・障がい者の方だけではなく、お年寄りや外国人など色々な人が不便だと感じることをもっと知っていきたい。・子ども~お年寄りまでの日常生活の中のバリアフリーについて調べていきたい。





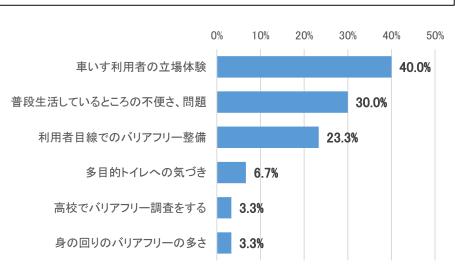
④本実証にて印象に残ったこと、伝えたい事

- 自由回答内容を分類すると、回答者数の40%にあたる12名が、車いす体験を利用しながら調査を実施した目、"車いす利用者の立場体験"ができたことが印象に残ったと回答している。
- 次いで、回答者数の30%にあたる9名が"普段利用している道路や施設が不便で合ったり問題がある"という気づきがあったと回答している。
- また、"利用者目線でのバリアフリー整備"が必要といった回答がある他、全国の高校で協力し合って、日本全体のバリアフリーについて調べたいなどの回答があった、

問

今回の授業全体の感想(一番印象に残ったことやみんなに伝えたいことなど)を自由に書いてください。(自由記述)

	n=	30
回答分類	回答者数	割合
車いす利用者の立場体験	12	40.0%
普段生活しているところの不便さ、 問題	9	30.0%
利用者目線でのバリアフリー整備	7	23.3%
多目的トイレへの気づき	2	6.7%
高校でバリアフリー調査をする	1	3.3%
身の回りのバリアフリーの多さ	1	3.3%







④本実証にて印象に残ったこと、伝えたい事

問

今回の授業全体の感想(一番印象に残ったことやみんなに伝えたいことなど)を自由に書いてください。(自由記述)

主な意見

	— U-10-70		
回答分類	主な意見		
	• 道が本当にがたがたで車いすに乗ったまま一人で行動できないと		
	思った。また周りの視線だったり、乗ってみて初めて気づくことが		
 車いす利用者の立場体験	たくさんあった。		
单い,外间用有 <i>切立场</i> 体数	・自転車でも大変な所は車イスにとっては倍以上に大変だった。		
	普段私は何気なく当たり前のように通っている道でも、車イスに		
	乗って通ると危ないと感じることが何回もあった。		
	普段生活している時と少し視野を変えて街内を見るだけで見え方		
普段生活しているところの不	が全く違って見えたことに驚いた。		
便さ、問題	・このような機会がなければ、バリアフリーという言葉を知っている		
使ら、问起	だけになっていた。体験をしてみて課題をたくさん見つけることが		
	でき、とても充実した。		
利用者目線でのバリアフリー	• 何かバリアフリーのものを作るなら、車イスの使用者や視覚障害		
整備	を持っている人などと考案するのが一番良いと思った。		
多目的トイレへの気づき	・オストメイトのトイレを始めて見た。今はまだBFトイレがない場所		
	があるので、すべての場所にBFトイレがあればいいと思った。		
高校でバリアフリー調査を	•全国の高校と協力し合って、日本全体のバリアフリーについて調		
する	べ、障害者の方がもっと暮らしやすい場所にしたいと思った。		